

令和6年度 数学科 指導計画 - 評価計画 (3年)

記入者 宮田 礼奈

		授業者：宮田 礼奈 (週2時間)		授業者：山内 均 (週2時間)		
学期	月	指導計画 (学習内容など)	評価計画 (観点、規準、方法など)	指導計画 (学習内容など)	評価計画 (観点、規準、方法など)	
I	4	1章多項式 1-多項式の計算	<知技> 1次式の乗法の計算及び公式を用いる式の展開や因数分解をすることができる。 <思判表> 文字式を活用して数量及び数量の関係を説明することができる。 <主体> 式の展開や因数分解を活用して、問題解決に生かそうとしている。	2章平方根 1-平方根	<知技> 数の平方根をふくむ式の計算をすることができる。 <思判表> 既習事項と関連付けて、平方根をふくむ式の計算の方法を考察し表現することができる。 <主体> 数の平方根を活用して、問題解決に生かそうとしている。	
	5	2-因数分解		2-根号をふくむ式の計算		
	6	3-式の計算の利用 (第1回定期考査)		3-平方根の利用 (第1回定期考査)		
	7	3章 2次方程式 1-2次方程式とその解き方	<知技> 2次方程式の必要性とその解の意味を理解し、2次方程式を解くことができる。 <思判表> 2次方程式を解く方法を考察し、問題の解決に適切であるかどうかを判断することができる。 <主体> 2次方程式の必要性と意味を考え、活用して問題解決に生かそうとしている。	5章 相似な図形 1-相似な図形	<知技> 相似の意味をや相似条件を理解し、平面図形や立体の関係について理解している。 <思判表> 相似な図形の性質を見だし、具体的な場面で活用することができる。 <主体> 相似な図形の性質を活用して、問題解決に生かそうとしている。	
	9	(第2回定期考査)		(第2回定期考査) 2-平行線と比		
		2-2次方程式の利用	<知技> 関数 $y=ax^2$ を表、式、グラフを用いて表現及び処理することができる。 <思判表> 関数 $y=ax^2$ の変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを関連付けて考察し表現することができる。 <主体> 関数 $y=ax^2$ の必要性と意味を考え、活用して問題解決に生かそうとしている。	3-相似な図形の面積と体積	<知技> 円周角と中心角の関係の意味を理解している。 <思判表> 円周角と中心角の関係を見だし、活用することができる。 <主体> 円周角と中心角の関係を活用して、問題解決に生かそうとしている。	
	10	4章 関数 $y=ax^2$ 1-関数 $y=ax^2$ (第3回定期考査)		7章 円 1-円周角の定理 (第3回定期考査)		
	11	2-関数 $y=ax^2$ の性質の調べ方 3-いろいろな関数の利用		2-円周角の定理の利用		
	II	12	6章 三平方の定理 1-三平方の定理	<知技> 三平方の定理の意味を理解し、直角三角形の辺の長さを求めることができる。 <思判表> 三平方の定理を見だし、活用することができる。 <主体> 三平方の定理を活用して、問題解決に生かそうとしている。		
		1	2-三平方の定理の利用 (第4回定期考査)		8章 標本調査 1-標本調査	<知技> 標本調査の必要性と意味を理解し、標本を整理することができる。 <思判表> 標本調査の方法や結果を考察し、母集団の傾向を推定し判断することができる。 <主体> 標本調査の必要性と意味を考え、活用して問題解決に生かそうとしている。
III	2	演習問題	(第4回定期考査)			
	3		問題演習			